

# 令和5年度の主な事業を

## 紹介します

令和5年度当初予算は、令和5年2月の市長選挙のため、継続事業や義務的な経費を中心に計上する「骨格予算」としました。  
 なお、市政執行方針や教育方針に基づいた新規事業などは、水無月会議(6月議会)に提出する補正予算に盛り込みます。  
 問い合わせ 財政課 ☎552・5114

市内には公共交通機関として、鉄道や路線バス、コミュニティバス、乗り合いタクシー、自家用有償旅客運送が運行しています。これらの公共交通サービスを持続的に維持、適用できるよう支援に努めます



### 丹波篠山で暮らす

買い物にお困りの方に対して、個別に配達しやすい環境を整えます



「丹波篠山の高校へ行こう」と市民あげて、市内3高校を盛り上げようと取り組んでいます

### 丹波篠山で暮らす

#### ■おためし丹波篠山暮らし

(予算額 3,513万円)

コロナ禍によりライフスタイルが変化の中で、農村回帰による新しい人の流れが生まれています。都市部から自然豊かな丹波篠山への移住を検討するなかで、不安を抱える方のために、1カ月からのおためし暮らしの機会を提供します。

#### ■公共交通の利用促進

(予算額 9,446万円)

路線バスとコミュニティバスに対しては、200円の上乗せ運賃制を導入していますが、さらなる利用促進のために、神姫バスグループの交通系ICカード「NicoPa(ニコパカード)」に2千円分をチャージして、市内の中学3年生に配布します。また、公共交通サービスを持続的に維持、適用できるよう支援に努めます。

#### ■高齢者などの買い物支援

(予算額 96万円)

買い物が困難な状況にある高齢者などの生活を支えるため、日用品を個別配達する事業者を補助し、個別配達サービスが利用しやすい環境を整えます。

#### ■丹波篠山の高校へ行く

(予算額 115万円)

令和3年度から、特色ある市内3校の独自の活動を支援し、その魅力を発信しています。

### 子育ていちばん

#### ■(仮称)今田こども園の新築整備

(予算額 4億9,300万円)

今田幼稚園が土砂災害特別警戒区域、今田保育園が土砂災害警戒区域にあることから、子どもたちの安全安心な保育・教育環境を守るため、幼稚園と保育園の機能を統合した「(仮称)今田こども園」を新築します。

#### ■スポーツ振興

(予算額 1,008万円)

市内各校の魅力ある運動部活動の確立を図るため、甲子園出場経験のある長澤宏行さんを市スポーツ振興官として迎えています。スポーツ教室を開催するなど、子どもたちの活躍が市民の希望となるよう取り組みます。

#### ■妊娠・出産包括支援事業

(予算額 3,038万円)

市外医療機関の受診のための交通費や育児用品の購入費として、一人当たり10万円の出産支援金を継続して支給します。また、丹南健康福祉センターにある「MY助産師ステーション」では、助産師が妊娠、出産への不安解消のために、産前産後のケアを行っています。

#### ■待機児童対策遠距離通所補助金

(予算額 211万円)

定員超過などで希望の保育所などに入所できず、他の保育所などに遠距離通所することとなった保護者の方々のために、通所距離に応じた一定額を補助します。

### 丹波篠山の農都創造

#### ■環境創造型農業の推進

(予算額 1,260万円)

化学肥料や農薬の使用を兵庫県 の慣行基準の2分の1以下に抑え、田んぼの中干しを遅らせることで、自然環境や生きものに配慮した農

法で栽培されたお米を「農都のめぐみ米」として、助成制度を継続して行い、さらなる普及を図ります。また、有機農業を農業者だけでなく事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進めるため、オーガニックビレッジ宣言を行います。

#### ■ふるさとの川再生事業

(予算額 2,062万円)

親水施設や魚道の整備を行うなど、生態系や自然環境に配慮した丹波篠山らしい自然・豊かな河川環境を保全するための整備を行っています。令和5年度は、後川、西紀、味間、古市地区で事業を実施します。

#### ■農都のまほろば水路の普及

(予算額 1,371万円)

生きものが住みやすい水路を「農都のまほろば水路」と名付けて普及しています。丹波篠山市から全国のモデルとなる生態系の保全に配慮した水路を広め、自然と共生する社会の実現に向けて挑戦します。

#### ■担い手支援事業

(予算額 2,248万円)

地域農業の担い手となる農業経営体に対して、水稲用、黒大豆用機械や自走式草刈機など農業機械などの導入に対する補助を行い、経営基盤の確立と更なる発展を支援します。

### 子育ていちばん



長澤宏行さんを市スポーツ振興官として迎えてスポーツ教室を開催するなど、子どもたちの活躍が市民の希望となるよう取り組みます



「(仮称)今田こども園」の建設場所は、今田支所近くにある市有地「森のたあみなる」で、令和6年4月の開園をめざして、施設整備を進めます

### 丹波篠山の農都創造



田んぼの生きものと下流域に配慮した「農都のめぐみ米」を広げています

生きもののすみかを守り、環境に配慮した「農都のまほろば水路」の整備を進めます



生態系や自然環境に配慮した川づくりを進めます



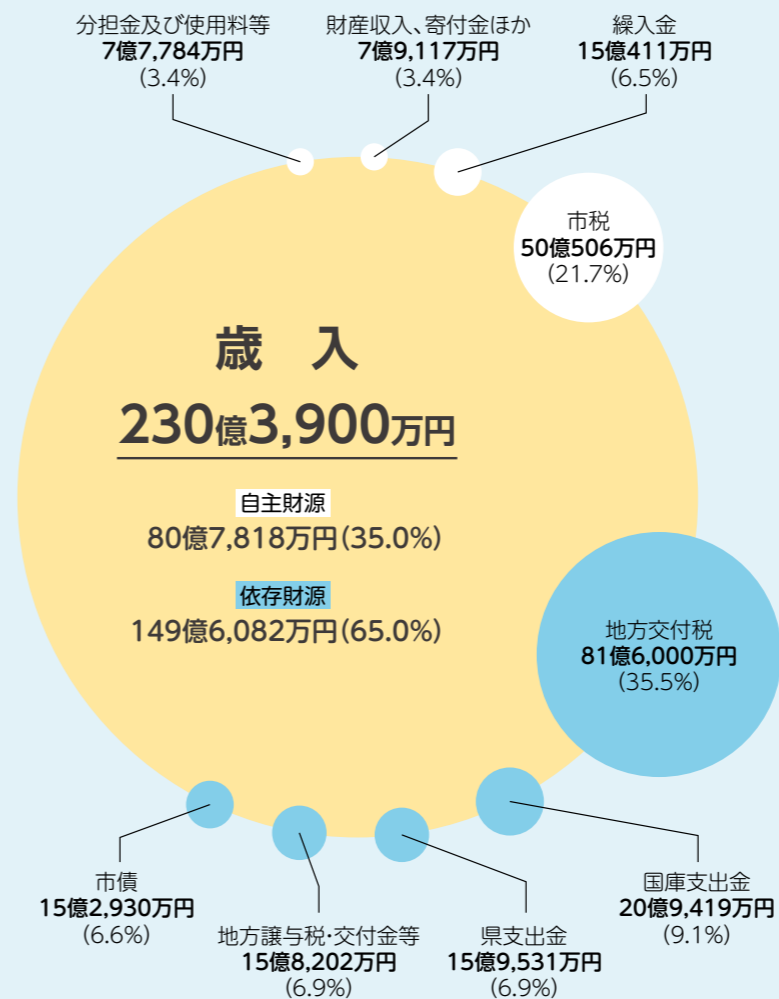
# 令和5年度 一般会計、特別会計、公営企業会計予算額 (単位：千円、%)

会計名	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	増減額	前年度 対比
<b>一般会計</b>	<b>23,039,000</b>	<b>22,732,591</b>	<b>306,409</b>	<b>1.3</b>
国民健康保険特別会計	5,173,100	4,990,752	182,348	3.7
事業勘定	4,952,816	4,773,952	178,864	3.7
直営診療所勘定	220,284	216,800	3,484	1.6
後期高齢者医療特別会計	716,516	708,920	7,596	1.1
介護保険特別会計	4,974,091	4,861,321	112,770	2.3
介護保険事業勘定	4,956,390	4,844,335	112,055	2.3
介護サービス事業勘定	17,701	16,986	715	4.2
<b>特別会計</b>	<b>10,863,707</b>	<b>10,560,993</b>	<b>302,714</b>	<b>2.9</b>
水道事業会計	3,208,786	3,061,774	147,012	4.8
下水道事業会計	5,282,033	5,159,661	122,372	2.4
<b>公営企業会計</b>	<b>8,490,819</b>	<b>8,221,435</b>	<b>269,384</b>	<b>3.3</b>
<b>合計</b>	<b>42,395,526</b>	<b>41,515,019</b>	<b>878,507</b>	<b>2.1</b>

# 予算の概要をお知らせします

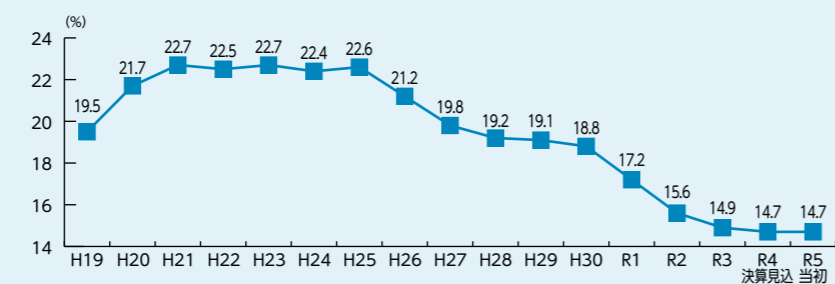
一般会計	230億3,900万円( 1.3%)
特別会計	108億6,371万円( 2.9%)
公営企業会計	84億9,082万円( 3.3%)

令和5年度の一般会計の予算規模は230億3,900万円。前年度と比較すると3億641万円(1.3%)の増額となりました。主な増額の要因は、今田こども園(仮称)の新設や丹波篠山市民センターの空調設備改修などによる投資的経費5億6,188万円の増、会計年度任用職員の人数が増えたことによる人件費5,932万円の増、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計に対する繰入金4,090万円の増となっています。



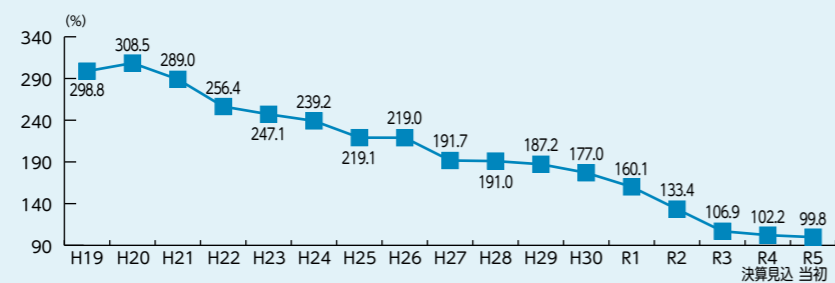
## 実質公債費比率

市の借入金の返済額の大きさを、市の財政規模に対する割合(3カ年平均)で表したものです。25%を超えると早期の健全化を求められます。



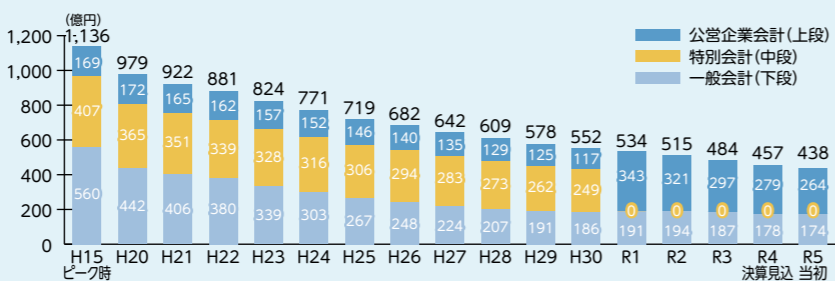
## 将来負担比率

市の財政規模に対する、将来支払う可能性がある負債の比率。350%以上で早期の健全化を求められます。



## 市債残高(全会計)

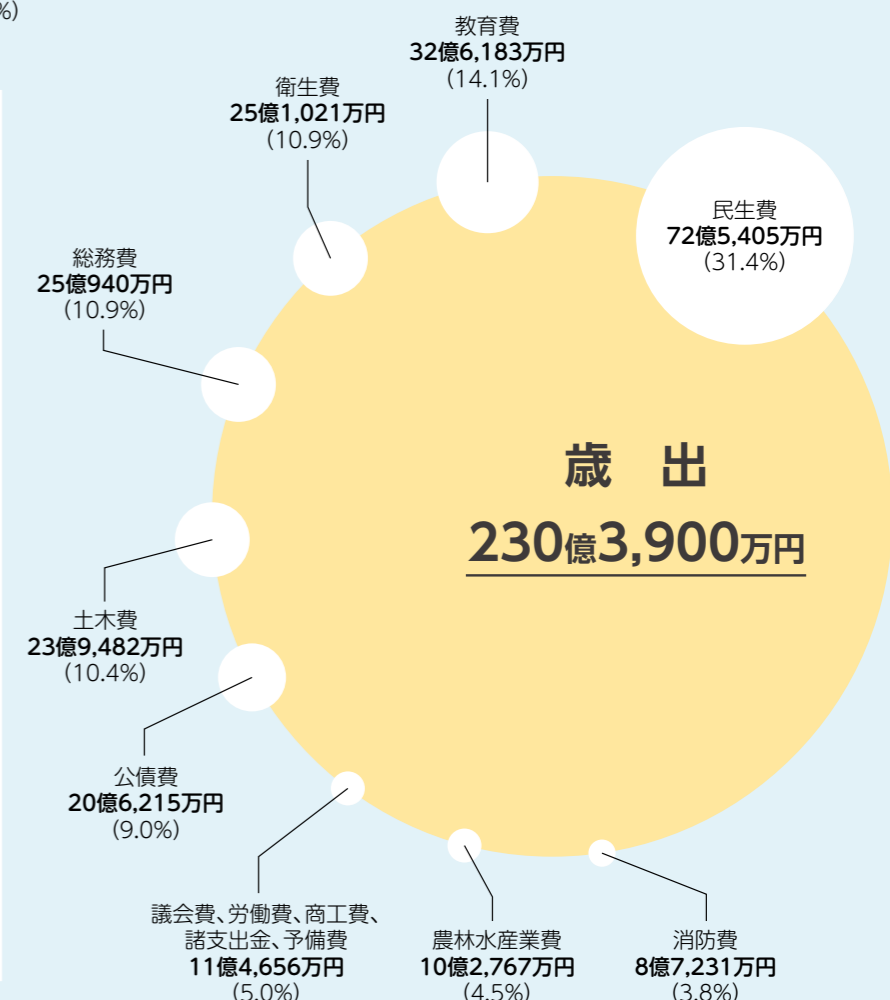
市債とは、建設事業の実施などで、国や金融機関から借り入れたお金のことです。



# 財政指標で見る丹波篠山市の姿

## 用語の解説

- 【歳入】**
- **市税** 市民の皆さんから納めていただくお金
  - **繰入金** 会計間や基金(貯金)などから、資金を受け入れるときのお金
  - **地方交付税** 地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるよう、国から交付されるお金
  - **国庫・県支出金** 市が行う仕事に対し、国や県から支給されるお金
  - **地方譲与税** 国の税金から、一定の基準で配分されるお金
- 【歳出】**
- **民生費** 福祉の増進に使うお金
  - **衛生費** 市民の皆さんの健康づくりや、ごみ処理などに使うお金
  - **総務費** 行政全般の事務に使うお金
  - **公債費** 市の借金を返済するお金
  - **諸支出金** 基金の積み立てに使うお金



## 重要伝統的建造物群保存地区とは？

文化財のカテゴリーの一つで、伝統的な建物が周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している地区の中でも、国にとって特に大切にしたいと選ばれた地区をいいます。

現在、全国で126地区が選ばれ、兵庫県下では5市6地区が選ばれています。

5月22日から24日まで、第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会が丹波篠山市で開催されます。

篠山地区と福住地区が重要伝統的建造物群保存地区として選定されて以降、初めての開催となります。期間中は、特別基調講演をはじめ、意見交換会や篠山・福住伝建地区周辺の視察などが行われます。

ここでは、大会期間中の内容についてお知らせします。

問い合わせ 文化財課 ☎552-5792

# 第45回 全国伝統的建造物群保存地区協議会 総会・研修会 丹波篠山市大会

入場無料



と き 5月22日(月)～24日(水)

会 場 田園交響ホール / 篠山伝建地区  
 福住伝建地区 / 今田地区

24日 【会場】  
 ①福住伝統的建造物群保存地区  
 《水》 ②今田地区

### ①現地視察研修

8:40～11:10

福住地区を視察研修します。住吉神社枯山水庭園「住之江の庭」や焼杉板の伝統的な工法の実演などを見学。多紀小学校の金管バンドによる演奏で参加者をお出迎えます。



### ②オプション視察研修

13:00～15:30

丹波伝統工芸公園陶の郷・丹波焼窯元散策を行います。

### 一般参加申し込みについて

5月22日(月)に行われる【講義Ⅰ】、【特別基調講演】、【首長サミット】については、事前に申し込みが必要です。

なお、5月23日(火)に行われる【講義Ⅱ】、【事例発表】、【住民パネルディスカッション】は、申し込みは不要です。

#### 申し込み受付期間

4月21日(金)正午～5月1日(月)

※定員(100人)になり次第、締め切り。

#### 申し込み方法

文化財課に備え付けの申込書を提出していただくか、右記の二次元コードからお申し込みください(電話でも可)



申し込み・問い合わせ 文化財課 ☎552-5792

23日 【会場】  
 ①篠山伝統的建造物群保存地区  
 《火》 ②・③田園交響ホール(申し込み不要)

### ①現地視察研修

8:30～11:30

全国各地からの参加者が、篠山地区の商家町と武家町の視察研修を行います。三笠山と鳳凰山2基の鋒山巡行も見学。篠山小学校による子どもガイドも行われます。



### ②講義Ⅱ

【一般公開】

13:00～13:40

黒田龍二さん(神戸大学名誉教授)

### 「篠山と福住の伝統的建造物について(仮)」



1955年三重県生まれ。神戸大学工学部・大学院工学研究科教授を経て現職。文化庁文化審議会文化財分科会第二専門調査会、第三専門調査会、滋賀県文化財保護審議会などの委員を務め、市においては2004年から丹波篠山市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員。

### ③事例発表等

【一般公開】

13:40～15:00 事例発表

金沢市・長野市・篠山地区・福住地区の住民活動の事例発表

15:10～16:10 住民パネルディスカッション

コーディネーター：清水夏樹さん(丹波篠山市農都環境政策官)

22日 【会場】 田園交響ホール(要事前申し込み)  
 《月》

文化庁長官あいさつ 都倉俊一さん

講義Ⅰ 【一般公開】

14:10～14:50

村上裕道さん(京都橘大学教授)

### 「重伝建地区の持続的向上策(仮)」



1954年高砂市生まれ。文化財建造物保存技術協会、兵庫県教育委員会文化財課を経て、同教育委員会参与、文化庁地域創生本部総括・政策研究グループ研究官。2018年4月から京都橘大学文学部歴史遺産学科教授。ヘリテージマネージャーの育成を推進するとともに、文化財保護の運用体制の整備に係る「文化財保存活用地域計画」の推進に取り組む。

### 首長サミット

【一般公開】

15:20～16:30 【コーディネーター：村上裕道さん】

参加首長



ひもと きぞう  
 久元喜造さん  
 (神戸市長)



かんきく にお  
 関貫久仁郎さん  
 (豊岡市長)



ひろ せ けい  
 広瀬栄さん  
 (養父市長)



やまもと のり  
 山本実さん  
 (たつの市長)



さくわい りゅうめい  
 酒井隆明  
 (丹波篠山市長)

### 特別基調講演

【一般公開】

14:50～15:10

菅義偉さん(前内閣総理大臣)



1948年秋田県生まれ。2012年12月、第2次安倍内閣の内閣官房長官に就任。2020年9月、自由民主党総裁、第99代内閣総理大臣に就任。

2016年、内閣官房長官時に古民家改修の取り組みや観光でにぎわう「丹波篠山」をこの目で見たいと訪問され、集落丸山や篠山城跡、河原町通りなどを視察されました。「まち全体が美しく、おもてなしの心を感じる。まちの景観をみんなで守ろうとしている取り組みは素晴らしい」と話されました。



2017年には国の景観まちづくり刷新支援事業が創設。モデル地区として、全国10都市のうちの1都市に選定されました。2020年には市道大手線が、翌年には河原町通りの無電柱化工事が完成。今回は、そのご縁もあり、講演を引き受けていただきました。



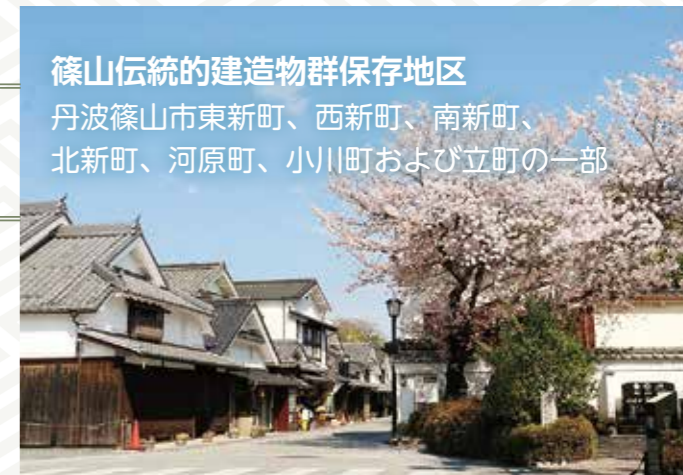
福住伝統的建造物群保存地区

丹波篠山市福住、川原、安口および西野々の各一部

丹波篠山の町並みを 後世につなげよう

丹波篠山市で初の開催となる全国伝統的歴史ある町並みを後世に伝えるこの大会区と福住地区も参加されます。ここでは、両地区の皆さんに大会に向け

建造物群保存地区協議会総会・研修会——。に、重要伝統的建造物群保存地区の篠山地区の思いや意気込みをお聞きしました。



篠山伝統的建造物群保存地区

丹波篠山市東新町、西新町、南新町、北新町、河原町、小川町および立町の一部

福住地区の魅力伝えるおもてなしで他地区と連携を深めたい

2012年に福住地区が重伝建地区に選定されて以降、町並みの整備が進み建物も34件改修されました。また、重伝建地区の範囲は東西約3,260mにも及び、121ある重伝建地区でこんなに細長くて、宿場町と農村風景を一体化した地域は他にはありません。

今回、丹波篠山市で初の開催となる大会は、年に1回、重伝建地区が一堂に会して、保存地区をいかに守り育て、後世に伝えていくのかを学ぶ研修会です。篠山地区と福住地区の取り組み事例の発表や、現地視察を通じて、よいところは参考にしたいと思っています。また、これを機会に他の地区と連携をすることができればうれしいです。



福住まちなみ保存会会長  
 森田 忠さん

今回の大会に向けて、オール福住で取り組んでいこうと、三つの部会に分けてそれぞれの取り組みを検討してきました。現地視察時には、大会関係者を福住町並み案内人グループが福住地区の旧街道沿いをガイドするとともに、山車蔵(福住上)での山車の展示や、住吉神社枯山水庭園「住之江の庭」の公開、さらに、旧街道沿いに木製灯籠や竹のプランターを並べて披露し、皆さんをもてなします。

重伝建地区に選定以降、京街道の町並みが残る福住地区を訪れる方も増えました。現地視察時には、精いっぱいのおもてなしで、福住地区の魅力を存分に味わっていただけようがんばりたいと思います。



伝建協総会・研修会福住地区  
 実行委員会会長 土井 忍さん

福住町並み案内人グループ



細見弥寿博さん(会長)【写真右】  
 前田磯次さん(副会長)

重伝建地区の選定を機に、全国各地から観光などで来られた方々に福住地区を案内するために結成された福住町並み案内人グループ(会員数=20人)。大会では、5月24日に約200人の参加者を、宿場町と農村集落が混在する町並みや住吉神社枯山水庭園「住之江の庭」をガイドされます。

「コロナで大会が延期となりましたが、そのときから、スムーズにまわれるガイドコースづくりや、分かりやすく説明できるシナリオの作成に、時間をかけて取り組んできました。当日は、地元のおもてなしを味わっていただくと同時に、福住はよいところだと思って帰ってもらえるように、精いっぱい案内したいと思います」。

この大会は、本来なら3年前の5月に開催される予定でした。コロナの感染拡大で2度の延期を経て、ようやく開催できる運びとなり喜んでます。

全国各地の伝建地区から「楽しみにしている」「頑張ってください!」「必ず行く!」などの応援メッセージもいただき、何としても成功させねばと両保存会一同頑張っています。

2004年に篠山地区が重伝建地区に選定される前は、傷み過ぎて保存を諦めねばならないような建物も多くありましたが、選定以降はそういった建物も修理復元ができ、整然とした美しい町並みとなってきました。また、令和3年3月には無電柱化が実現、一層伝統的な町並みがよみがえり「110年ぶりの鉾復活」にもつながりました。今回の大会では復元した鉾山巡行も見えていただく予定です。

丹波篠山市は「二つの日本遺産」「ユネスコ文化創造都市」に指定され「二つの伝建地区」をもつ全国的にも珍しく貴重な存在のまちです。そんな丹波篠山の魅力を随所で感じ取っていただけるよう、まちを挙げておもてなしをしたいと考えています。

また、この大会で得られたことを糧にして、この素晴らしい町並みを確実に次の世代へ継承して行く努力をして行かねばと改めて強く感じています。

整然とした美しい町並み その魅力を感じてほしい



篠山まちなみ保存会会長  
 川端 登さん

ディスカバーささやまグループ



柳本松野さん(会長)【写真中央】  
 谷口信弘さん(副会長)【写真右】  
 齋藤肇さん(総務)

1983年に篠山ABCマラソン大会(当時)に来場された観光客にガイドをしてみたいという声を受けて、観光ボランティアガイドとして発足されたディスカバーささやまグループ(会員数=26人)。大会では、5月23日に約240人の参加者を御徒士町武家屋敷群と河原町妻入商家群でガイドされ、鉾山の巡行についても説明されます。

「これだけ、大規模なガイドをするのは初めてですが、ぜひ喜んでもらえるよう、精いっぱいおもてなしの心で接客していきたいです。1番最初におもてなしをするのは私たちのグループです。丹波篠山の代表として、個人的にも来てみたいなあと思ってもらえるよう、全般的なガイドができればと思います」。